

1. 5月例会の報告

5月30日(土)明治大学で伏島、土屋両氏による発表が行われた。参加者：16名。土屋氏の長年にわたる豊富な現地観測・観察のデータとスライドは、非常に興味深くかつ印象的であった。今年度卒論作成の伏島氏はこれからが本格的な調査の時期となるので、会員の皆様には(とりわけ二重山稜・線状凹地などに関する論文を書かれた方などはとくに)有益な suggestion・情報をどしどしいただけるよう事務局からもお願いいたします。

2. 6月例会のお知らせ

寒冷地形談話会 6月例会

とき : 6月20日(土) PM2:00-5:30
ところ : 東京大学理学部2号館2階 地理学教室学部講義室
(地下鉄丸の内線 本郷三丁目駅下車徒歩7分 赤門そば)

【卒論構想発表】亜高山帯森林植生の自然地理学的環境要因
高崎 善人 (東大・地理・学)

【卒論構想発表】歌オブナ林の立地環境について
高岡 貞夫 (都立大・地理・学)

オオシラビソの分布パターンと温暖期の気候の影響
梶 幹夫 (東大・農・森林植物)

3. 会費納入のお願い

今年度の会費1500円の納入を、先にお送り致しました振り込み用紙にてよろしくお願いいたします。住所・所属・電話番号等の変更がおありの方は振り込み用紙にその旨明記して下さい(名簿作成の関係でなるべく6月中旬ころまでにおねがいたします)。また、御自身の現在の研究テーマあるいは寒冷地形談話会に少しでも関係しそうな情報等ございましたら併せてお知らせ頂ければ幸いです。

口座番号 : 東京0-171342 寒冷地形談話会

1. 形成メカニズムの問題

表 1 線状凹地形成プロセス

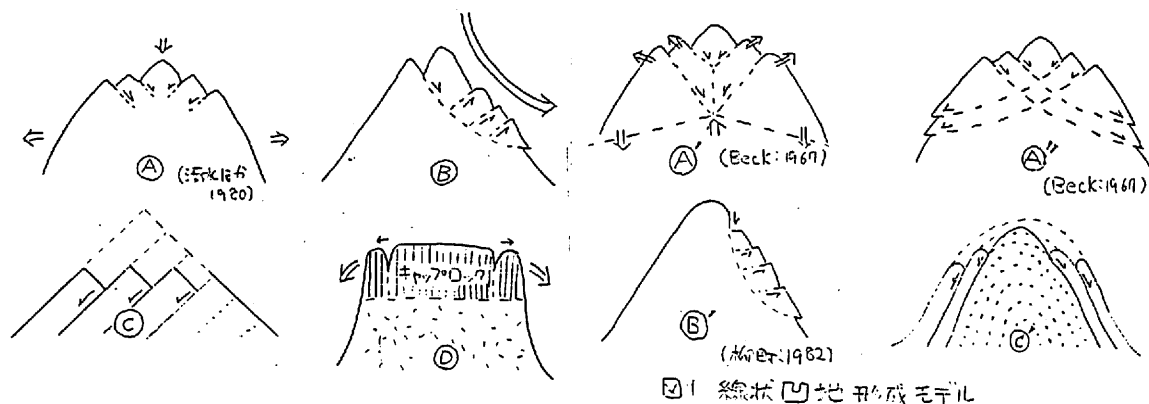
- ① 周水河作用—差別侵食：金子1956，式1960，鈴木1975，桧垣1977
 ② 吸い込み：小林1955，式1960
 ③ 地すべり（図1，D）
 ④ 断層運動 — 広域応力場による：相馬1974，上本1978
 局地応力場による：（図1）
 type A：清水ほか1980，八木1981，松岡1985(A'')，
 柳町1982a
 type B：寺戸ほか1980，柳町1982b(B'')
 type C：芥川ほか1979
 type D：江川1979

* type B の一番下のブロックを見つけられれば面白いのだが.

* type C, Bが多く, type Aは少ないのではないか?

2. 形成時代の問題

- * 古い線状凹地の痕跡は見つからないか？
- * 氷食を受けた線状凹地はないか？
- * タイムマーカーとなるテフラはないか？
- * 断層粘土の分析による年代推定の可能性は？



鳥海山貝形小氷河の15年

— 1972—86の推移 —

土屋 巖（香川大・農）

貝形小氷河は山岳氷河の中では最も小規模の *niche glacier* に区分されるものであるが，成因的には吹きだまり型多年性残雪が氷化したものであり，*snowbank gl.* *snow drift gl.* と表現されることもある．一時的な多雪が原因となることが多く，貝形では1973/74の大雪が1975以後の年々変動の大きい *active gl.* の引金になった．1972—86の年々の特色の中から下記の現象について説明

年次	主要事項	収支
1972	8月南斜面の残雪群観察，10月心字雪の多年性氷化写真	-
1973	10月大股・心字雪・貝形の予備調査	+
1974	8月，10月 貝形計測 >15 mで越年	+++
1975	8月写真測量 10月流動現象，温度（マウス），三角測量	-
1976	10月写真（委託）	-
1977	10月 annual snowline 1250m まで低下	++
1978	9月多重 annual layer. 6年前のものまで	-
1979	9月ムーラン，縦クレバス，鉛直孔による流動写真	-
1980	9月複数の横断クレバス	+
1981	9月横クレバス，先端中腹から5mの水平探索孔，年境界層確認	+
1982	8月下旬横クレバス，10月 annual snowline 1250m まで低下	++
1983	9月逆断層型年境界層，ムーラン	-
1984	8月，9月横クレバスに伴う地表裂開，基盤岩石との凍結と解除	+
1985	7月鉛直孔 ¹¹ m掘削と計測	-
1986	8月，9月横クレバスに伴う地表裂開，多重 annual layer	+

【主要文献】（新しいもののみ，全てをいれると約20編）

A very small glacier on Mt. Chokai, Japan, 1972-1981. Geogr. Rev.

Japan, 57(B), 142-153, (1984).

鳥海山の小規模氷河現象 —1972-1983. 地理, 30(2), 73-85, (1985).

サマースクールのお知らせ

今年度は北上山地早地峰山周辺で行います。参加御希望の方は早めに事務局までお知らせ下さい。

【案内予定者】 鈴木由告・桧垣大介・清水長生・沖津進・沢口晋一・西城潔・小水内・（小岩清水・杉田久志・宮城豊彦）の各氏

【ルート】

8月21日（金）：A.M. 8：30盛岡駅集合

（車数台）→区界→アイオン沢（崩壊地，アカエゾマツ林）→
区界→長野峠→大迫町大又，農業体験実習館（泊）

8月22日（土）

実習館→小田越……（徒歩）→……早地峰中岳（岩海，高山植生）→……小田越→実習館（泊）

8月23日（日）

実習館→小田越→……森林限界・雪食凹地→……小田越→実習館→大迫→新花巻（解散）

8月24日（月）【オプション】

実習館→小田越→川井→サクドガ森・一杯森（アースハンモック）→盛岡（解散）

★ サマースクールは自動車をかなり利用することになりますので，マイカー（あるいはレンタカー）で来られる方は御一報下さい。

★ 宿泊（2泊or3泊とも）：大迫町営農業体験実習館
一泊素泊1200円（ユカタ・食器・風呂付き）＋食事（自炊）代
（TEL.0198-48-5860）

★ 申込〆切：7月10日頃までに事務局宛
〒113 文京区本郷7-3-1 東大・理・地理
高田将志 気付

寒冷地形談話会事務局
（tel. 03-812-2111 内線4580）